

「未来を創造し、社会に貢献する人材の育成」

令和元年度 柳津町立会津柳津学園中学校

学校だより

令和2年3月19日(木)発行 第 47 号 発行責任者:高橋 弘悦

本当の春到来 厳戒の中での合格発表

コロナウイルス対策で厳戒態勢が敷かれる中、16日、県立高校特色選抜、一般選抜の合格発表が行われました。各校とも、訪れる受験生に対しては、マスク着用や咳エチケットの徹底が呼びかけられていましたが、マスクの下にのぞく笑顔がとてもまぶしい一日となりました。本校にも正午を過ぎた頃から喜びの声が届き始め、無人の学校で寂しい思いをしていた職員室内が、久しぶりにわき上がっていました。



どのように過ごしていますか？

—学校の臨時休業に関する福島県教育長メッセージ—

突然の臨時休校から2週間が過ぎました。どのような毎日を過ごしていますか？

先週の金曜日には、限られた参加者でしたが、卒業証書授与式を行い、3年生が立派に巣立っていきました。1, 2年生へのメッセージには、「よりよい学校を目指して頑張ってください」と、大きく羽ばたく会津柳津学園中学校への期待を残していきました。

いよいよ1, 2年生の出番です。来たるべき新年度に向けて、この期間を有意義に過ごしてほしいものです。

さて、このほど、福島県教育委員会教育長さんからメッセージが届きました。「柳津教育ネット」にも載せてあります。よく読んで、あらためてこの期間の過ごし方を考えてください。



外での運動は禁じられていません

全国一斉に臨時休校になったことから、子どもたちの家での過ごし方がテレビ等で報じられています。「毎日毎日勉強ばかりでストレスがたまる」（すごいですね!）と答えている子どもがいる一方で、「カラオケやゲームセンターにたむろする中高生を見た」とか、「日中うろついている子どもたちがいる。休校は意味があるのか!」という報道もあります。

本校では、家庭訪問等をして生徒の生活ぶりを聞いていますが、ほとんどの生徒が、休業の趣旨を理解し、家庭学習も計画的に進めているようです。一方で、「運動していないので、少し大きくなったような気がする」という報告もあります。横に大きくなった(*_*)とすれば、少し心配です。

密閉された空間に不特定多数の人と過ごす（カラオケ等）ことや人混みへの外出は感染の危険性を増大させますが、外での運動まで禁じられているわけではありません。散歩やジョギング、外でのラジオ体操など、身体を動かすこともぜひ心がけてほしいと思います。もちろん、外出から帰ったら、うがい、手洗いはしっかりと行いましょう。

あらためて、感染防止のための注意事項をあげておきます。

- 不必要な人混みへの外出を避ける。
- 咳やくしゃみをするときは自分の肘やティッシュペーパーで口元を隠し、使ったティッシュペーパーはゴミ箱に捨てる。
- 混み合った場所では、自分と他人を感染から守るためにマスクをする。
- 目・鼻・口を触らないようにする(粘膜から感染しやすいと言われています)。
- 石けんと水で頻繁によく手を洗う(20秒)。石けんがなければ、手の消毒液を使う。
- 一般の家庭用清掃液やスプレーで、物やその表面を頻繁に消毒する。

ヨーロッパでの爆発的な感染に比べ、日本は、感染者の緩やかな上昇にとどまっています。これも、一人一人が予防対策をしっかりと心がけているからだだと思います。中国や欧米のような状況にならないために、しっかり協力したいものです。

保護者の皆様へお願い

- ☆罹患者に関わる憶測によるうわさ話や非難はお子様にも悪影響です。
- ☆過度のテレビ視聴やメディア利用にご注意ください。
- ☆可能な範囲で通常の生活を維持させてください。
- ☆心配なことがあったら学校にご相談ください。

